［別添資料］

ファール判定器の不具合に関する再発防止策の流れ

	JAPAN BOWLING	主管連盟	競技会場
大会1～2か月前	■ 競技会場のファール判定器について、主管連盟へ動作確認依頼を行う。	■ 競技会場と日時の調整を行う。 ■ 動作確認に立会う役員を決定する。 ■ 決定した内容をJAPAN BOWLINGへ報告する。	■ 主管連盟と日時調整
大会1か月前	■ 動作確認の結果やその後の状況等について報告を受ける。 ■ 主管連盟にファール審判員配置計画を依頼する。 ■主管連盟からの相談に対し、適宜助言を行う。	■ 競技会場でファール判定機の動作確認を行う。 ■ 不具合が認められた場合、競技会場へ修理依頼を行い、その状況をJAPAN BOWLINGへ報告する。 ■ 競技会場から理由書が提出された場合、内容を確認の上、JAPAN BOWLINGへ提出し、ファール審判員の配置計画を立案する。	■ 主管連盟役員立会いのもと、ファール判定機の動作確認を行う。 ■ この時点で不具合が認められない場合でも、大会開催までの間で不具合が発見された場合には主管連盟に報告を行い、必要な修理を行う。 ■ 不具合が認められた場合、必要な修理を行い、その結果を主管連盟へ報告する。 ■ 修理が困難な場合、主管連盟に理由書を提出する。
大会当日	【競技開始前】 ■ 動作確認結果について報告を受ける。 ■ ファール審判員の配置について適宜指導及び助言を行う。 【監督会議（選手ミーティング）】 ■ ファール判定器の動作状況について、報告を行う。 【2日目以降】 ■ 動作確認結果について報告を受ける。 ■ ファール審判員の配置について適宜指導及び助言を行う。 【マッチゲームでの競技】 ■ 動作確認結果について報告を受ける。 ■ ファール審判員の配置について適宜指導及び助言を行う。	【競技開始前】 ■ 大会当日、競技開始前にファール判定器の動作確認を行う。 ■ 動作確認結果をJAPAN BOWLINGへ報告する。 ■ 不具合のあるレーンに対し、ファール審判員を配置して対応する。 【監督会議（選手ミーティング）】 ■ ファール判定器の動作状況について、報告を行う。 【2日目以降】 ■ 毎朝、競技開始前にファール判定器の動作確認を行う。 ■ 動作確認結果をJAPAN BOWLINGへ報告する。 ■ 不具合が発見された場合、マイクアナウンスにより状況報告を行い、ファール審判員を配置して対応する。 【マッチゲームでの競技】 ■ 試合開始前に審判部長（もしくは審判副部長）がファール判定器の動作確認を行う。 ■ 動作確認結果をJAPAN BOWLINGへ報告する。 ■ 不具合の有無に関わらず、ファール審判員を配置し、目視によるファール判定も行う。	【競技開始前】 ■ 大会当日、主管連盟役員立会いのもと、競技開始前にファール判定器の動作確認を行う。 【2日目以降】 ■ 毎朝、主管連盟役員立会いのもと、競技開始前にファール判定器の動作確認を行う。

依頼
連絡・調整
報告
動作確認実施
報告
提出・相談
依頼・助言
報告・提出
報告
協力
指導・助言
協力
協力
報告
指導・助言
報告
指導・助言